



市議会議員
上田由美子
☎ 68-2106
Fax 68-2146



参議院議員
井上さとし



前衆院議員
藤野保史

高齢者の願い 市長に要望 年金者組合



年金者組合の八尾支部長(右から2人目)らが上田市議(左端)とともに市長に要望=11月28日、市長応接室

結成3年目の全日本年金者組合小矢部支部(八尾三紀夫支部長)は11月28日、高齢者から寄せられた市政に対する願いをもとにした22項目の要望書を桜井市長に渡し懇談しました。

支部ではこれまで2年間「高齢者補聴器購入費用助成事業」の大切さを訴え、制度の発足と充実を求めて実現。加齢性難聴者から喜ばれてきました。今年度は新たに「まちづくり運動」として高齢者から要望アンケートを行い、「交通手段」、「生活や買い物」、「健康」へと広げて市の支援を求めることになりました。要望内容の概要を次に紹介します。

冬を前に高齢者の心配なくして！

近づく冬に関して、①チョイソコが積雪のために運休とならないように、②高齢者だけの世帯が屋根雪おろしや家周辺の除雪に困らないように、③消雪装置が機能しない場合に除雪車の出勤を。

「带状疱疹」予防接種費用への助成など 新しく設けて！

これまでになかった事業を新たに始めてほしいこととして、①運転免許返納者で希望する人に、「電動シニアカー」電動アシスト自転車購入費用」の助成を、②屋敷林の剪定枝の運搬収集を、③加齢に伴って発症率が高まる「带状疱疹」の「予防接種費用」への助成を、④難聴の早期発見へ「聴力検診」を、補聴器の継続装用支援を。

「チョイソコおやべ」をもっと便利に！

チョイソコ利用者の要望から、①利用法やネット受付がわからない高齢者への周知を、②必要時に配車できないことのないように、③商業施設の停留所をもっと増やしてほしい、④砺波市や南砺市への運行を(砺波総合病院を急いで)、⑤チョイソコ最終便17:00以降に、石動駅(北口、南口)発のメルバス5路線最終便を19:30ごろまでに、

⑥利用者からのアンケートの声を早く生かすように。

“買い物弱者”が買い物しやすく！

スーパーのない地域の高齢者や「買い物弱者」の要望から、①日用品の買い物をもっと便利になるために、販売事業者が「移動販売」「宅配サービス」「買い物バス」に積極的に取り組めるよう、市の「補助金」制度をもっと広げてほしい。

安心して暮らせるように！

①熊被害予防のために、街なかの柿の木の対処を、②一人でも入居できるアパート、安く利用できる空き家。

市長 「チョイソコは総じて好評」「剪定枝処理、除排雪は住民の共助も」

懇談の中で市長は、チョイソコについて「総じて好評。丁寧に説明し利用し易くしたい」と要望に対する理解を示しつつ、困難さにも言及。剪定枝の処理と除排雪について地域での「共助」を提言。新規の制度創設については「スクラップ&ビルド」の姿勢を示しました。市長は要望への回答を後日文書で行うと述べました。



小矢部市がデイサービス型産後ケアを開始

北陸中央病院で、小矢部市民を対象に12月11日から産後ケア事業が開始されます。11月30日に「産後ケア室」の内見会があり、上田由美子市議が民生文教常任委員として参加しました。その報告を紹介します。

乳児を育てるお母さんにリフレッシュ

お産の後で、お母さんは心身ともに疲れています。従来は実の母親などに頼ることが多かったのですが、働いている、病弱など様々な事情で頼ることができない場合があります。デイサービス型の産後ケアは、乳児を育てるお母さんにとって、リフレッシュする機会となり、新たな力を与えるのではと感じました。

2階には、母親がゆっくり過ごす部屋があり、助産師のサポートを受けます。希望に応じて、管理栄養士や公認心理士、保育士に相談することができます。

6階の産後ケア室では、沐浴設備や赤ちゃんの体重測定器もあり、助産師が乳児の世話をします。母親がここで赤ちゃんといっしょに過ごすこともできます。居室や専用ロビーからの眺めも良く、晴れた日には立山が見えるとのことです。



子ども家庭課に利用申請を

小矢部市民で出産後4か月未満の母親と赤ちゃんが利用でき、平日午前9時から午後4時30分まで、利用料は1回1500円です。(5回まで)

1日、1組受け入れで、こども家庭課に利用申請します。

このほかに、訪問型の産後ケアがあります。小矢部市民で出産後1年以内の方が利用できます。自宅に開業助産師が訪問し、育児相談、授乳相談、沐浴指導を受けます。1回3〜4時間で利用料は1000円です。(5回まで)